

令和6年度（所属名）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	公務員としての自覚と使命感を持ち、法令順守・服務規律の徹底を図る	休暇取得、旅費申請等の申請、文書管理等の日常の業務において、改めて規則の確認等を行い、職員行動指針の周知・徹底を図った。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等行為の防止）	職場でのハラスメント行為を防止し、県民からの信頼に応える健全な学校環境をつくる。	管理職や同僚に相談しやすい環境づくりに特に留意した。不祥事防止研修でも取り上げ、心理的安全が担保できる職場環境づくりについて考える機会を持った。
生徒に対するわいせつ、パワハラ行為の防止、	わいせつやパワハラを起こさせない職場環境を作り、学校に対する信頼を確保する。	啓発資料等により事例から学ぶ機会を作り、実感をもってもらうよう努めた。また、事故不祥事防止研修などでの呼びかけ等を実施。職員の綱紀保持なども活用し、常に意識するよう留意した。
体罰等の不適切な指導の防止	生徒への体罰、不適切指導を起こさず、学校に対する信頼を確保する。	日頃からの生徒対応に留意するとともに、啓発資料等を用い不適切な指導事例の把握やその未然防止に努めた。また、職員間でも気になることについては改め、また、生徒が相談しやすい体制の整備を図った。
入学者選抜及び成績処理に係る事故防止	ミスや誤りは起こり得る前提に立ち、チェックリストや体制整備に重点をおき、未然防止に努める。	業務の計画、要項やマニュアルの作成とその読み込みを行い、全職員が共通認識をもって業務に臨めるよう留意した。複数でのチェック体制等、ミスを発見しやすい環境やつくりを意識し未然防止に努めた。
個人情報の管理・情報セキュリティ対策	個人情報の流出防止、不正な収集を行わない等、情報の取扱いに日頃より留意し、セキュリティ意識を高める。	個人情報の持ち出しや日常の情報管理について、定期試験、成績処理等特を始め、外部試験等での取扱いにも留意した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故を起こさないよう細心の注意をもって運転する、飲酒しての運転は絶対に行わないという強い意識を持つ。	啓発資料を使用し、歓送迎会他、飲酒を伴う機会が多くなるときには特に重点的に交通ルールや酒気帯び運転等の諸事項を自分事となるよう注意喚起も行った。
会計事務の適正執行	規則に基づいた適正な会計処理及び財産管理を徹底する。	支出の管理を定期的に行うなど、私費会計の特徴を踏まえた会計事務を行うよう、会計担当者始め職員全体に、年度初めに説明を行った。

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

目標については概ね達成していると思われる。しかし、昨年度目標としたマニュアル作成などは途上であり、引き続き、業務の効率化や継続性をより確実なものとし、事故防止につなげる方法を検証し、実践していく。また、個々の職員が当事者として、学校運営に参画するという意識をもって、不祥事防止にも取り組めるよう組織的な取組を進めていきたい。